

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	21	課題区分	C	令和8年(2026年)4月7日	
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興						
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	リニア活用・企画振興課	
事業名	南信州ユニバーサルツーリズム推進事業				電話	0265-53-0401	
					E-mail	<a href="mailto:minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp">minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要	目的 (目指す姿)	南信州地域で観光に携わる方々が、地域の一つの特色であるユニバーサルツーリズム(以下、UT)について、学び・体験することで、取組を地域全体に広げていくことを目的とする。 特に、入浴介助については、UTの重要な要素であり、上諏訪温泉や城崎温泉など県内外でも取組が進んでいるため、当地域でも今後のUT推進に向けて関係者間で情報を共有し、今後の展開を図っていく。					
	現状と課題	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「心のバリアフリー」の浸透:ハード面(設備)の完全な改修が難しい山岳地域であるからこそ、住民やスタッフによる声掛けや介助などのソフト面でのサポート、いわゆる「心のバリアフリー」を重視したおもてなしが定着しつつある。</li><li>・特化型プログラムの展開:阿智村の星空観賞や農家民泊において、車椅子利用者や高齢者が家族と一緒に参加できるプランの造成が進んでおり、多様なニーズに対応する「信州型ユニバーサルツーリズム」のモデルケースとなっている。</li><li>・広域連携による推進体制:南信州観光公社などが中心となり、宿泊施設・飲食店・交通機関が連携して、地域全体で受入環境を底上げしようとするネットワーク化が進んでいる。</li></ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地形・既存施設のハード的制約:山岳地帯ゆへの急勾配や、歴史ある農家・老舗旅館などの古建築が多く、スロープ設置や多目的トイレの整備といった物理的なバリア解消には、多額のコストと物理的限界が伴う。</li><li>・専門人材と介助リソースの不足:入浴介助や移動補助を専門的に担えるスタッフが不足しており、特に人手不足が深刻な宿泊施設では、詳細な事前相談への対応が現場の大きな負担となっている。</li><li>・情報発信とマッチングの不備:「どこまでバリアフリーか」という詳細な情報(段差の数や通路幅など)が数値化・可視化されておらず、当事者が安心して旅行を計画するための情報提供がまだ十分ではない。</li></ul>					
	内容 (変更後の内容)	①【南信州ユニバーサルツーリズム体験会の開催】 1 日時 令和8年2月24日(火) 13:00~15:00 2 場所 癒楽(ゆら)の宿清風苑、阿智屋神温泉街 3 内容 ・ユニバーサルツーリズムのトレンドについて ・南信州おでかけチーム“ウイズ”の取組について ・入浴介助デモンストレーション(清風苑温泉施設) ・車いすサポート体験(阿智屋神温泉街) 4 対象者 南信州で観光に携わる行政担当者、DMO、事業者等 5 定員 30名 6 講師 株式会社阿智屋神観光局 取締役総務監理部部長 村松 晃 氏 南信州おでかけチーム“ウイズ” 副代表 中山 陽平 氏					
事業期間	令和8年2月		~	令和8年2月			
事業費	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考			
	南信州ユニバーサルツーリズム体験会の開催	報償費・役務費・使用料等	46,600	講師謝金:6,600円×3時間×2名=39,600円 印刷費:7,000円			
	合計		46,600				
指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況			
	ユニバーサルツーリズム体験会の参加者	20名	27名	達成			

事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初開催ではあったが、行政、観光関係者を中心に一定の参加者を確保できた。</li> <li>・ユニバーサルツーリズムのトレンドについて・南信州おでかけチーム“ウイズ”の取組についてそれぞれの様子が分かった。</li> <li>・入浴介助デモンストレーション(清風苑温泉施設) お風呂の入り方は個人差があるので、なるべく利用者の意向を尊重している。</li> <li>・車いすサポート体験(阿智屋神温泉街) 参加者からは、「こんな段差を昇り降りできるのは驚き」「思った以上に軽く曳ける」「乗り心地がいい」といった声が聞かれた。</li> <li>・全体を通じて、講師からは、一つの施設での対応が地域全体のイメージやブランド形成に影響することもあるとの指摘があり、地域全体で受入環境の質を高めていく必要性を共有する機会となった。</li> <li>・今回の体験会を通じて新たに関係者間のつながりが生まれ、今後、連携を図っていくための基盤が形成された。</li> <li>・ユニバーサルツーリズムが全国的に広がりを見せる中、屋神温泉を中心とした南信州地域が先進的に取組を進めていることが紹介され、本地域の取組が観光コンテンツとしても有力な地域資源であることが示された。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験会を通じてユニバーサルツーリズムの意義や可能性が共有されたことを踏まえ、南信州地域においても、地域一体となった取組として商品化等を通じUTを継続的に推進していく必要がある。</li> <li>●ユニバーサルツーリズムの市場調査 ユニバーサルツーリズムに関する調査業務報告書(令和5年3月 国土交通省観光庁観光産業課)も参考に、障害のある方や高齢者を対象にアンケートを実施</li> <li>●UTをテーマにしたパッケージツアーの販売</li> </ul>